

別添 6-5 (第 3 の 2 関係)

畜産GAP拡大推進加速化交付金の事業成果及び評価報告書（令和２年度）

都道府県名 沖縄県

目的	目標値				事業実績		備考
	目標値	実績	達成度	評価	事業費実績 (円)	うち交付金相当額 (円)	
I 日本版畜産 G A P 指導活動 の推進	1 経営体	1 経営体	100%	A	635, 260	635, 260	
II 日本版畜産 G A P 等認証の 取得拡大	1 経営体	1 経営体	100%	A	236, 182	236, 182	
<p>事業の成果</p> <p>令和 2 年度は琉球大学を重点的に指導し、琉球大学は令和 3 年 3 月 1 日付けで JGAP 家畜・畜産物（肉用牛）の認証を取得した。</p> <p>また、埼玉県で行われた JGAP 指導員研修に参加し、県職員 4 名が JGAP 家畜・畜産物の指導員資格を取得。これにより、令和 3 年 3 月末時点の県内における JGAP 指導員の人数は 10 名となった。</p>							
<p>都道府県による評価</p> <p>令和 2 年度は新型コロナウイルス感染症の影響により、広く生産者への周知や指導・研修を行うことが困難となったものの、指導対象を琉球大学に絞ることでより細部まで指導を行うことができた。その結果、琉球大学は沖縄県で初めて JGAP 家畜・畜産物認証を取得することができた。</p> <p>また、県内の JGAP 指導員を 4 名増員し、当初の目標に掲げた県内各地域への複数人の配置を達成。令和 3 年度は JGAP 指導員基礎研修を県内で開催するよう調整しており、指導員のさらなる増員及び普及推進活動の拡大を計画している。</p>							
<p>国による評価</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 4 名の指導員の育成により、指導員は 10 名（令和 2 年度末現在）となり、県内の畜産 G A P 指導体制の強化が図られた。 ・ 成果目標の達成状況は計画どおりであることから、畜産 G A P の拡大及び推進に寄与したものと思料。 							